（郵便省認可）　（本號六面）　明治廿三年七月二十二日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

第二千七百二十三號
明治廿三年七月廿二日　火曜日
舊暦庚寅六月六日（甲辰）
日出午前四時四十二分　入午後六時五十二分
月出午前九時十時零七分　入午後十時三十三分
滿潮午前八時五十分
（西暦一千八百九十年）

芝居評を募る

芝居は至て微妙なるものにして其の評も亦容易の事に非ず沿々たる俗評却て名優をして泣かしむるもの多かる可しと思ひ時事新報は左の方法を以て芝居の評を廣く天下に募り無雙の名什に美麗なる繪を添へて紙上に掲げ敢て芝居評の清光を以て梨園を照らさんと欲するものあり

一先つ取敢ず今度開場せし市村座より始む
一總幕の評にても一幕の評にても勝手次第たる可し

時事新報は只其萃を拔いて紙上に掲載す

一住所姓名幷號は成る可く明記あらんみとを望む
一投寄日限は來る二十五日迄とす
一紙上へ掲載したる評者へは一幕に付時事新報一ヶ月分を贈る但し住所判然せざれば致方なし

時事新報

コレラ病の豫防

去月下旬より長崎縣下に發したるコレラ病は頗る劇症にて日々の患者數十名に上り初發よりは既に數百名の多きに達し益々猖獗の勢あるを以て政府にてはコレラ流行地と認め同地方を發し又は同地方を經て來る船舶には亦問關其他の諸港に於て檢疫を施行する旨を告示したるが昨今の電報に據れば佐賀、廣嶋、福井、愛媛等の縣下にも同患者を生じたりと云ふ本年は春來とかく不時候にして世間に病人の沙汰少なからず過般來流行のインフルエンザも未だ其跡を絶ざるのみならず一時米價の騰貴したる爲め小前の細民あとは目前の糊口に差支へて衣食ともに常の如くあらざるもの多き由なるに折も折とて此夏先よりコレラ病の流行と聞ては往年西南の役後人民の疲弊に乘じて九州地方に疫毒の慘狀を極めたる事例さへ思ひ出して轉た寒心に堪へず左れば政府にても沿道の各府縣に命令を發し豫防法を密にせしめ又府下に於ては警視廳より注意して市街の清潔法を施行する等その用意頗る鑑重あるが如しコレラの害毒たる今更いふ迄もなく東京府下の如く戸口繁密なる場所に侵入するときは其傳染の勢甚だ速にして忽ち數多の人命を亡ぼすに至る可きは年來の經驗に於て既に明白なる事實あれば其侵入に先ちての豫防策ゐろ最も大切あれ斯る大切の場合に臨みては政府の命令處置に多少干渉に類するゐとありて固より之を忍ばざる可らずと雖も第一の要は其命令處置を能く實際に施して民心に干格するの患なからしむるに在のみ元來コレラを防ぐは敵兵を防くに異ならず我將校の注意密にして規律嚴重なるも士卒に戰意あくして銘々窃に怠るときは必ず勝利なきが如く政府の命令處置が何ほど嚴重に行屆きたりとて人民の銘々に其心得なきに於ては折角の豫防も遂ふ無効に歸す可きが故に豫防檢疫遮斷法等を行ふなど政府の力を假らざる可らざる事柄は其向の命令を待つゐと必要なれども其以外の事に至りては銘々の川心覺悟ゐそ寔一にして之を喩へばコレラの發するは猶ほ火を失するが如し苟も失火とあれば之を救ふに官民公私の別はある可らず誰れ彼れの論なく唯火を消すの一節に盡力す可き筈なるに不幸あるはコレラの形が火の如く明白あらざるが故に官民共に防禦の實に緩心あらず無學の俗吏等が火急の際にも尚ほ官吳を放つて不理窟を張れば無智の細民は之を煩はしとして感染を隱す者さへあきに非ず斯の如きは則ち失火を隱さんとして大火の火元たるに等し實に捨置き難き次第あれば今日の急は先づ第一に府下の醫師を以て消防の指令官と爲し其醫師の官たり民たるに論なく總て其命令に從ひ府民をして苟も之に違背せしめざるは勿論警察の筋の官吏巡査等に至るまでもコレラ消防の事に關しては醫師の酌下に在る者と心得讀んで醫命の下に運職するゐと肝要ある可し云々と兼て我盟の所見を世に公にせんと思ふ折柄一昨日の紙上に掲けたる如く警視廳にては第一局長より府下の各警察署長へ口達して六箇條の要を示したり毎條その精神の在る所は專ら府下の醫師を信任して其運動を自由ならしめ一方には警吏が人民に接するに情を重んじて漫に警察權を弄するを禁ずるもの〻如し我盟は口を放て稱贊せざるを得ず蓋し他より任せられて始めて自から任ずるは人心の常にして警視廳が斯く已れを屈ふして醫師に任ずるからには醫師も大に奮發して人の知らぬ處までも力を盡す可き は無論、府民も從前コレラ流行の時に當り警吏を恐るゐと殆んど病毒を恐るゝが如くなりしに引替へ其懇切の情に感じて只管ふれに依賴し啻に命令に從ふのみならず自から進で病毒撲滅の事に加勢するゐともある可し即ち公私協力の防禦法にして實効を奏するゐと決して難からざる可し近來警察事務の漸く歩を進めて繁を除き簡に就き漸く人權を重んずるの趣あるは我盟も常に贊成の意を表し輿望の歸する所爭ふ可らざる中にも今度のコレラ豫防法の如きは出色の美擧として府民の爲めに警視長官の注意を謝するものなり

雜報

○米國銀貨案可決の由來及其影響の成行事情如何

米國の利銀論者が同國ミッツリー州セントルイスに集會し銀貨鑄造制限解除の事を議したるは昨年十一月の事にして是ぞ米國銀貨案問題の發端なりしが爾後同國大藏卿の銀貨案元老院の修正案、及下院の提出案等となりて一雖一駁共議論の高まる毎に影響を世界の市場に與へて其相場を狂はしたれども其間或は容易に可決するが如く或は到底望みなきが如くして高低定りなく怡かも實業者を惱殺するが如き有樣ありしに、此程の本紙電報欄内に記載したる如く問案はいよ〳〵同國大統領の批准濟と爲り來る八月十三日より實施するゐとに定れり、右可決案の實施マンマと行はるべきや將又中途より之を妨ぐべきの事情起るべきやは一大疑問なれども兎に角之が爲め世界の經濟社會就中銀貨國たる我國の如きは容易ならざる變動を生ずべきゐと論を待たず故に今此銀貨案の由來を始め現在未來其實施上より起るべき變動ふに官民公私の別はある可らず誰れ彼れの論なく唯火を消すの一節に盡力す可き筈なるに不幸あるはコレラの形が火の如く明白あらざるが故に官民共に防禦の實に緩心あらず無學の俗吏等が火急の際にも尚ほ官吳を放つて不理窟を張れば無智の細民は之を煩はしとして感染を隱す者さへあきに非ず斯の如きは則ち失火を隱さんとして大火の火元たるに等し實に捨置き難き次第あれば今日の急は先づ第一に府下の醫師を以て消防の指令官と爲し其醫師の官たり民たるに論なく總て其命令に從ひ府民をして苟も之に違背せしめざるは勿論警察の筋の官吏巡査等に至るまでもコレラ消防の事に關しては醫師の酌下に在る者と心得讀んで醫命の下に運職するゐと肝要ある可し云々と兼て我盟の所見を世に公にせんと思ふ折柄一昨日の紙上に掲けたる如く警視廳にては第一局長より府下の各警察署長へ口達して六箇條の要を示したり毎條その精神の在る所は專ら府下の醫師を信任して其運動を自由ならしめ一方には警吏が人民に接するに情を重んじて漫に警察權を弄するを禁ずるもの〻如し我盟は口を放て稱贊せざるを得ず蓋し他より任せられて始めて自から任ずるは人心の常にして警視廳が斯く已れを屈ふして醫師に任ずるからには醫師も大に奮發して人の知らぬ處までも力を盡す可き は無論、府民も從前コレラ流行の時に當り警吏を恐るゐと殆んど病毒を恐るゝが如くなりしに引替へ其懇切の情に感じて只管ふれに依賴し啻に命令に從ふのみならず自から進で病毒撲滅の事に加勢するゐともある可し即ち公私協力の防禦法にして實効を奏するゐと決して難からざる可し近來警察事務の漸く歩を進めて繁を除き簡に就き漸く人權を重んずるの趣あるは我盟も常に贊成の意を表し輿望の歸する所爭ふ可らざる中にも今度のコレラ豫防法の如きは出色の美擧として府民の爲めに警視長官の注意を謝するものなり

○米國銀貨案可決の由來及其影響の成行事情は如何あるべきやを略敍して讀者の瀏覽に供せんとす

第一　世界市場既往數十箇年の銀相場

米國に此銀貨案の問題起り遂に國會の議決する所と爲り實行遠からざるに至りし由來を尋るに先ち讀者の知らんと欲する所は第一世界市場銀の相場は從來何程にありしものが近年の如き直段に下落し米國利銀論者をして多年苦悶の末遂に此冒難の大策を決行するまでに至らしめしやにあるべし今左に英國倫敦の金銀仲買商ピクスレイアーベル商會にて調製したる一千八百三十三年度より一千八百八十四年まで五十二箇年間倫敦銀塊相場表を掲げんに左の如し

既往五十二箇年倫敦市場銀塊相場表

年度	一月中の相場	七月中同上	一年の平均相場
	片	片	片
一八三三	五八、八分ノ七	五九、四分ノ一	五九、一六分ノ三
一八三四	五九、八分ノ七	六〇、四分ノ一	五九、一六分ノ一五
一八三五	五九、八分ノ七	五九、四分ノ三	五九、一六分ノ一一
一八三六	五九、四分ノ三	六〇、四分ノ一	六〇、
一八三七	六〇、八分ノ一	五九、八分ノ三	五九、一六分ノ九
一八三八	五九、二分ノ一	五九、二分ノ一	五九、二分ノ一
一八三九	六〇、二分ノ一	六〇、八分ノ三	六〇、八分ノ三
一八四〇	六〇、四分ノ一	六〇、四分ノ一	六〇、四分ノ一
一八四一	六〇、八分ノ三	五九、八分ノ七	五九、八分ノ七
一八四二	六〇、八分ノ三	五九、八分ノ五	五九、八分ノ五
一八四三	五九、八分ノ五	五九、八分ノ五	五九、八分ノ五
一八四四	五九、八分ノ五	五九、四分ノ三	五九、四分ノ三
一八四五	五九、四分ノ三	五九、四分ノ一	五九、四分ノ一
一八四六	五九、四分ノ一	五九、八分ノ五	五九、八分ノ五
一八四七	五九、八分ノ五	五九、四分ノ一	五九、四分ノ一
一八四八	五九、四分ノ一	五九、八分ノ七	五九、八分ノ七
一八四九	五九、四分ノ三	五九、四分ノ三	五九、四分ノ三
一八五〇	五九、八分ノ七	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八五一	六〇、	六〇、	六〇、
一八五二	六〇、四分ノ三	六〇、八分ノ三	六〇、八分ノ三
一八五三	六〇、八分ノ三	六〇、二分ノ一	六〇、二分ノ一
一八五四	六〇、二分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八五五	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八五六	六〇、一六分ノ一	六〇、二分ノ一	六〇、二分ノ一
一八五七	六〇、二分ノ一	六〇、二分ノ一	六〇、二分ノ一
一八五八	六〇、二分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八五九	六〇、八分ノ三	六〇、二分ノ一	六〇、二分ノ一
一八六〇	六〇、四分ノ三	六〇、二分ノ一	六〇、二分ノ一
一八六一	六〇、二分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八六二	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八六三	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八六四	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八六五	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八六六	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八六七	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八六八	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八六九	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七〇	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七二	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七三	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七四	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七五	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七六	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七七	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七八	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八七九	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八八〇	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八八一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八八二	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八八三	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一	六〇、一六分ノ一
一八八四	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一
一八八五	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一
一八八六	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一
一八八七	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一
一八八八	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一
一八八九	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一
一八八九年度	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一	五九、一六分ノ一

右表の價位は英量一チンス（銀分千分の九百二十五）の銀塊相場の算用に屬するものなり千八百八十五年以後の分は之を缺くと雖も試みに我外國爲換相場の價より算用して倫敦銀塊相場の概算を爲す時は左の如くなるべし

一八八五年度	五十片强
一八八六年度	四十六片强
一八八七年度	四十五片强
一八八八年度	四十二片强
一八八九年度	四十三片弱

而して今年即ち千八百九十年の今月昨今の銀價は爲換相場より算用を建てゝ、殆んど五十一片位に進み居る勘定なり左ればこの世界の銀相場は去る千八百三十三年より千八百四十九年は六十片より六十八片位に進み居る千八百五十年より六十片より六十五片位に進み居る著るしき變化あり千八百六十年は變化頗ふる多し五十八片と爲りたるが翌年は五十片、四十六片位に進み居る五六年間は下落

○冬季農業學校の例に倣ひ本年より農學士武藤高吉氏を雇ひ入れ

○全國鐵道線路の成線路綜圖を調査し兩日前出來上りとして配布する筈

○義俠の老爺を占る處なるが、りし折柄同町に船大工小林桑次郎すとて自分が手伝しが地主其他賓客もの二十六人を殺傷し頓を頭らとして に同町内にて終に より十八名の世話名の貧困者へ五

○氷價益々騰貴す切り需用の增加ッ横濱にては在荷館氷は已に最初百餘噸なるを以て云ふ又碇泊の各國斯く品欠乏の爲に比すれば殆んど配せば百斤以上十斤以上同三錢ありといふ

○アチデスは沈增すもの〻由なり

○新刊書籍

日本歷史圖解上世店發行）神武天上著るゝ事蹟二十あり表裝又美麗と云ふ可し

觀風錄話（藤田茂吉著）著者が歐洲術等の話を聞く外國土產として製本の小形にチャ

藥末集（露伴作春異美人の四編よろと横になりて世界の經濟社會就中銀貨國たらざる變動を生ずべきゐと論を待たず故に今此銀貨案の由來を始め現在未來其實施上より起るべき變動の口から「堪へら面白いみとゝ！」と變之ず但し笑小